

第 17 号

発行:

十日市場開拓伝道
支援会

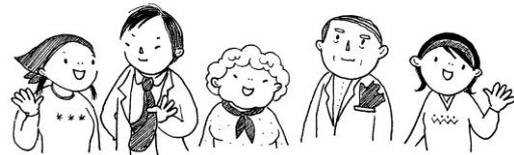
巻頭言 聖書的でバランスの取れた健全な教会を

永福南キリスト教会牧師 竹内 豪

昨年11月27日、初めて十日市場教会に招かれ、礼拝と午後の集會でご奉仕させていただきました。

ベック先生ご夫妻は来日2年目(1994年)の日本語修得中の最後の半年間、永福南教会で礼拝を守られました。その最後に先生にいただいた説教は今も深く心に残っています。また、教会は一昨年30周年を迎え、先生をリトリートの講師にお迎えしました。3回の説教は主の恵みに感謝し、主の恵みに信頼し、主の恵みに生かされて歩むことを語られ、一同大きな励ましを受けました。そのような先生によって養われている教会のご奉仕は恐れ多いことでした。貧しいご奉仕でしたが、皆さん喜んで下さり、午後の集會も開拓のスピリットに燃える皆さんの積極的な信仰姿勢にかえって励まされました。

使徒の働きに見る初代教会は、内実、拡大、増殖、架橋の4要素を内包して前進します。それは御霊の力による福音宣教の前進でした。内に御霊の実、外に伝道の実を結び、迫害の危機も伝道の好機とばかり散らされて増殖、異文化・異言語・異民族の壁も福音は超えます。初代教会に働かれた御霊は現代教会にも働いておられます。午後の集會でこの4要素からお話すると、ベック先生は十日市場も開拓段階から世界宣教をめざし、この中から宣教師が起こされるよう祈ろうとチャレンジしておられました。聖書的でバランスの取れた健全な教会を見ました。ますます御霊による前進と祝福をお祈りしています。



佐藤優子先生について

前号でお伝えしました通り、2016年9月1日より、ベック先生は、シュローツ師と分担しつつ、リーベンゼラ宣教団の代表を兼任されることとなりました。ヘーグレ師がこれまで専任で果たしておられた役割を、分担しつつとは言え、開拓伝道と同時に担うそのスケジュールは、忙しい日本人の目から見ても驚異的です。ドイツ人の目からすればなおさらそうでしょう。さらにこの上、2017年5月からは、シュラーハイム(学生宿舎)に住み、そこでの責任も加わる予定です。

支援委員会はベック師のそうした事情を余り把握しておらず、祈ることもしませんでした。そんな中、主は、ベック師の祈りに答え、助けとなる働き手を備えていて下さいました。みなみ野キリスト教会で救われ、その後ドイツのリーベンゼラ神学校で5年間学び、昨夏帰国された佐藤優子先生です。佐藤先生は10月から十日市場での働きを始め、伝道・牧会を助けておられます。

ベック師の働きが支えられ、緩和されるとともに、急な必要のために、急いで始まった佐藤先生のお働きが、理解され、整えられるようお祈りください。 榎田信(中山キリスト教会・支援委員)

諸教会の皆様のご支援を感謝しています。

9月からベック先生はリーベンゼラ宣教団の代表になられたことで、十日市場での奉仕に制約を受けるようになりましたが、10月からリーベンゼラの神学校を卒業された佐藤優子先生が十日市場の働きを支援して下さることになりました。また、30日には、二回目の洗礼式を行うことができました。家内の昔からの友人で、家も十日市場に近い方です。ご主人様やご両親も洗礼式に参加してくださいました。

11月には、ユーオーディアの火ノ川京子姉によるチャペルコンサートを行いました。十日市場教会は、大通りに面しているため、車の音が外から入ってくることを心配しましたが、グランドハーブの調べはしっかりと響きました。63人の参加者で、そのうち初めての方が1/3にもなりました。献堂式を除いて最大の参加者でした。このぐらいが適正な最大人数かなと思えました。(献堂式の際は、すし詰めですいませんでした。) 20日には、立石聖美姉の紹介で十日市場に来られた方の転会式がありました。これで、会員は16人になり、ちょうど派遣会員の倍になったこととなります。また、27日には、永福南教会の竹内豪先生に特別伝道礼拝をしていただき、午後には、開拓伝道についての学びもしていただきました。



12月になり、18日には、こどもクリスマスが持たれ、地域のお子さんたちと一緒にワッフル作りをしました。24日には、十日市場駅前でのキャロリングをし、その後、教会に戻り、イブ礼拝となりました。25日には、クリスマス礼拝と祝会を行いました。礼拝には43の方が参加して下さり、礼拝としての最多記録となりました。前の会堂には台所がなく、食事を用意することに制約が大きかったのですが、今回は台所や食べ物を置く場所があり、35人で祝会が比較的スムーズにできました。新会堂が与えられたことを心から感謝します。 鯉淵信也

会計

十日市場開拓伝道支援会

尊いおさげものをご感謝します。土地会堂の取得のための総予算7000万円を4月早々に達成でき、新会堂の改修も5月に終了しました。諸教会の皆様のご協力に心から感謝します。今後の会計は、支援会債3120万円とリーベンゼラからの借入金1000万円の返済が課題です。会計残高は、今後の事務費を除き、返済積立金ということになります。12月末で442万円弱となり、返済金の10.7%までできました。引き続きお祈りください。

2016年10月～2016年12月会計報告

<収入>		10～12月
献金・謝礼等	1,436,550円	
その他	3円	
合計A	1,436,553円	
<支出>		
事務費、通信費	27,438円	
その他雑費	6,360円	
合計B	33,798円	

<会計残高>

9月末残高	3,015,622円
今期差し引きA-B	1,402,755円
12月末残高	4,418,377円(返済積み立て金)

<10月～12月に献金や謝礼をいただいた教会等50音順>
生田丘の上、大磯、上作延、かもい聖書、相模原福音、湘南のぞみ、湘南ライオン、菅生、逗子福音、たまプラザ、長津田、中山、花の木、浜田山、東村山、本郷台、松見ヶ丘、横浜キリスト福音、横浜永谷、横浜緑園、十日市場めぐみ、の21教会、個人1件

十日市場めぐみキリスト教会の祈りの課題

トマス・ベック

1. クリスマスの各集会に多くの新来会者が与えられたことを感謝しつつ、これからも礼拝に来られ、信仰に導かれますように祈ります。
2. 信仰入門クラス(2名)、洗礼準備クラス(2名)、転入準備クラス(1名)の他に個人の聖書の学び(1名)が行なわれています。主の祝福と助けが豊かにありますように祈ります。
3. 中西健彦神学生、佐藤優子先生とベック宣教師のそれぞれご奉仕が守られ、主の栄光を現すものとなりますように。
4. 健康の試みにある方と、そのご家族のために。教会からよきサポートができますように。
5. 今年度の支援会予算が満たされ、支援会債の返済が計画的に進められるように。

連絡先：十日市場開拓伝道支援会事務局

〒213-0034 川崎市高津区上作延 906
上作延キリスト教会内 TEL044-866-6950

メール kamisaku@cj9.so-net.ne.jp

献金窓口：①郵便振替

「十日市場開拓支援ネットワーク」

00280-5-70757

②ゆうちょ 記号 10280 番号 32539591
口座名「十日市場開拓支援ネットワーク」